

EVENT INFO

Live & Seminar 第4ターム

音楽を楽しみながら、電気のこと、未来のことを考えよう!

Vol.1 6.27(土) Vol.2 7.18(土)

Vol.3 8.29(土) Vol.4 9.26(土)

Vol.5 10.24(土)

11:30 開場 / 12:00 開演 (予定)

@ban.K ベルクヒュッテ (中央区盤渓410番地)

主催: NPO法人ベターデイズプロジェクト

5.5 泊原発STOP3周年 記念パレード

5.5(火)13:00-14:30

@大通公園3丁目

来る5月5日は、3年前に泊原発が全て停止した日です。また、子どもの日なので、カラフルににぎやかに札幌の街を練り歩きましょう! 途中参加も歓迎!

shut泊「自然エネルギーと原発の
これからを考える連続講座」

かわはらしげおの 新・原発出前授業

5.28(木)18:00開場/18:30開演

「原発と教育」～原発と放射能は
学校でどう教えられるのか～

6.25(木)18:00開場/18:30開演

「原発と憲法」～原発は司法で
どう裁かれるのか?～

講師:かわはらしげお (現役高校教師)

@エルプラザ2F 環境研修室

(札幌市北区北8条西3丁目)

参加費:各回500円(資料代含む)

主催:shut泊

問合せ:skawahara1217@nifty.com

FAX011-896-0642

「Better Days」サポートのお願い

「Better Days」編集部では、以下の項目についてサポートしていただける方を募集中です。

広告スポンサー

誌面に広告を掲載することで資金面での支援をお願い致します。(年間全6回契約)

カンパ

可能な時に可能な範囲で、資金面での支援をお願い致します。(契約なし)

設置・配布店舗

毎号10~50部程度置かせていただくことで、普及啓蒙面で支援をお願い致します。

カンパのご入金先

随時受付中。発刊の度に郵送いたします。

ゆうちょ口座:02730-3-47837

加入者名:NPO法人ベターデイズプロジェクト

NPO法人ベターデイズプロジェクト 会員募集のお知らせ

仲間が増える! 楽しいから
学びが増える! 続けられる!

主催イベント「Live&Seminar」、協力イベント「林田健司流 復興支援歌プロジェクト・みんなの音がさね」、フリーペーパー「Better Days」編集、その他、各協力団体主催イベントへの支援など、ともに活動していただける仲間を募集しております。

一般/法人会員 一口1,000円×12ヶ月(議決権を有します)

※ともに一年ごとの更改となります。

賛助会員 一口5,000円×12ヶ月(議決権はありません)

お問合せ・お申込はメールにて承ります

info@betterdays-project.net

スマートフォン・携帯電話からのご連絡の場合、betterdays-project.netからのメールを受信できるよう設定して下さい。エラーで届かないことがあります。

3.11後の生き方 Living the Life After 3.11



2011年5月から始めた私の「原発出前授業」も、2014年12月末でついに300回を超えました。北は稚内から南は函館まで、本当に全道各地いろいろなところで開催させて頂きました。会場は、公民館や区民センター、学校のような公共施設だけでなく、小さな喫茶店やカレー屋さんでやることもありました。参加者は、小学生の子どもから高齢者の方まで、年齢も職業も、じつに様々です。

私の「原発出前授業」を企画・主催してくれる人たちも、じつに様々です。脱原発に取り組んでいる市民団体だけでなく、環境問題や教育・福祉・人権問題などに取り組んでいる市民グループやサークル、労働組合などの学習会、研修会などが多いですが、若いお母さん方の「放射能」への関心が高いからでしょうか、保育園・幼稚園の父母会などからも呼ばれます。ちよつとめずらしいところでは、キリスト教や仏教の関係者の学習会や、企業の社員研修などと呼ばれることもあります。

「市民の皆さんの「関心」の高まり」の300回を超える「原発出前授業」をやってきた、私が、本当に強く感じることは、3・11後の市民の皆さんの高さと、それについて「知りたい、わかりたい」という強い思いです。2011年の福島第一原発の事故と、それ以後の日本の原発と核エネルギーをめぐる様々な問題は、これに対する国民の高い関心と呼び起こし、連日新聞やテレビでも取り上げられ、大きく報道されてきました。しかし、事故から4年以上も経過し、しだいにこのような問題が新聞やテレビで取り上げられなくなってきたように思われます。しかし、私の「原発出前授業」への注文は、以前のように集中して殺到するようにはなくなりましたが、現在でも、毎月数回の出前授業の依頼が、絶えることなく寄せられています。このようなことから、市民の皆さんの「原発と放射能」への関心は、低くなっているところか、むしろ新聞やテレビが報道しなくなっている分、「いったい今、原発と放射能はどうなっているんだ?」という、市民たちの「知りたい、わかってほしい」という強い思いが、いまだに持続しているように思われます。

もうひとつ、全道各地で「原発出前授業」をやってきた感じは、市民の皆さんの「もうだまされたくはない」という強い思いです。3・11以後、私たち国民が気づいたのは、**国も電力会社も、そして新聞もテレビなどのマスメディアも、今回の原発事故について、できるだけ小さく見せようとして、事実を隠したり、ごまかしたり、ウソをついていた**ということでした。そして、それは、今に始まったことではなく、この50年の間、日本の原子力政策を推し進めてきた「原子力ムラ」の人たちによって、ずっと行われてきたことだったのです。この間、原発と放射能についての「本当のことは、国民に対して隠され、ごまかされ、ウソをつかれてきたのです。3・11以後、このことに気がついた多くの市民の皆さんが、今、原発と放射能の「本当のこと」について、自ら「知りたい、わかってほしい」と、強く思い始めたのではないのでしょうか。

このような私自身の体験から言えることは、あの3・11の出来事をきっかけにして、いまこの日本で市民たちのあいだで、**原発や放射能についての、自主的、主体的な「学びの要求」**

「原発出前授業」は、これからも、そのような3・11後の市民たちの高まっている「学びの要求」に応えるための「市民による、市民のための学びの場」にしていきたいと思っています。

